



学校教育目標

自ら求めて学ぶ心豊かな生徒の育成

三豊市立高瀬中学校

〒767-0011

三豊市高瀬町下勝間2725番地1

TEL 0875-72-3161

FAX 0875-73-6188

文責 長谷川 忍

2025年度スタート

赴任式及び始業式が4月7日（月）に行われました。新しいクラスの仲間と出会い、新しい先生方と出会い、さあ新年度のスタートです。

始業式で私からは、「あいさつと笑顔があふれ、生徒も先生もみんなが楽しいと思える学校を目指していきます。」と話しました。

新3年生に対しては、「最高学年として高瀬中の顔となるので、今まで以上に頑張り自分の将来の夢を実現させるための進路を手に入れてほしい。」と伝えました。

また、新2年生には、「中堅学年という自覚と責任をもち、学校の様々な活動の中心となり、新入生のよき先輩として、手本となってほしい。」と伝えました。

ご家庭におかれましても、今年一年間の達成目標を子どもと共有していただき、目標が達成できた時は、その頑張りをお褒め申し上げますようよろしくお願いいたします。今年一年間、全教職員一丸となって、子どもたちの力をしっかり伸ばしていきたいと思っておりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新入生116名による第66回入学式

春の陽気の中、4月8日（火）に第66回入学式が無事執り行われました。116名の新入生を本校全教職員並びに全校生徒で迎え、参列の保護者やご来賓の皆様と温かい雰囲気の中、新入生の門出を祝福させていただきました。

私の式辞においては、「『高い志をもつこと』、『仲間を大切にすること』、『自分を鍛えること』を皆さんに希望しています。」と伝えさせていただきました。残り3年間の義務教育期間を有意義に過ごし、それぞれの目指す進路、自分の可能性に向かって頑張ってくれることを願っております。

全校集会（4月9日）

新年度初めての全校集会を行いました。表彰の伝達では、剣道部、バドミントン部、卓球部の活躍を表彰しました。その後、2，3年生の学級委員長の任命式を行いました。

（校長の話）抜粋

「新しい学級でお互いの『ちがい』を理解し認め、『尊重する心』を育ててほしい。」

学級では、いろいろ考えが違う人が、一緒に力を合わせて取り組むことで、思い出が増えていきます。金子みすゞさん（詩人）の「私と小鳥と鈴と」という詩の中に、「みんなちがって、みんないい」という言葉があります。人間はみんな違って、個性という大切な特徴を持っていて違っているのが当たり前で、「違っていても悪くないし、恥ずかしいことでもなく、みんなが大切な存在である。」という意味です。たとえ苦手なことがあっても、自分に自信がなくても、自分を責めたり、恥ずかしがったりしないで欲しいと思います。「違いを笑い、同じでかたまること」や「人をからかって、馬鹿にして笑う人間」であっては、『尊重する心』は育ちません。『ちがい』を理解し認め、違う文化や風習を楽しみ、素敵だと思える人が、将来的に世界で活躍できる人になると思います。新しいクラスで頑張っていきましょう。